月刊 利根日石新聞
2009年11月1日 創刊 令和6年10月号
第00018号
発行
利根日石株式会社 TEL 0278-24-1635
本社販売管理課 FAX 0278-23-7980

10月 October

秋の味覚といえば、ぶどうや柿、栗、りんごなど様々ですが、新米を楽しみにされている方も多かったのではないでしょうか？今年は新米出荷のニュースを見る機会も多く、野菜や果物のようにお米にも早生（わせ）や晩生（おくて）があることを初めて知りました！

調べてみると、お米の場合は、品種の違いによるものというよりは、田植えの時期や環境によって収穫の時期が変わってくるようです。おいしい新米があると食事が一段と楽しくなりますね！気分を変えて土鍋で炊いていただくのもおすすめです☺

SSスタッフブログ『実録！鉄粉落とし』更新しました！
お車に付着した鉄粉にお悩みの方、工程に興味のある方、写真つきで掲載しています。是非ご覧ください！

☺チームワークの大切さ☺

毎年、秋にはインカレ（全日本学生ホッケー選手権大会）が開催されています。
それに出場した際、予選は通過できましたが、決勝トーナメント2回戦目で立命館大学に敗れ、結果 ベスト8で大学での部活は終わりました。大会会場は京都・奈良だったのですが、最終日は試合がなくなってしまったので、卒業旅行も兼ねて、4年の皆でどこか寄って帰ろう！という話になり、電車で大阪のUSJへ向かいました。色んなアトラクションを楽しんだり、食事をしたりして、最後記念にプリクラを撮りました。帰りの電車の中で「さっき撮ったプリクラ見せて！」と、隣の席のチームメイトに聞くと「えっ。私、持ってきてない。見せて!?」とさらに隣へ声をかけ…さらに隣、さらに隣…と聞いたところ、全員 誰も撮影したプリクラを持っていなかったのです…。「みんな人任せで、チームワークがなってないね!! だから負けたんだね…」と、反省しつつ、チーム皆で大爆笑しながら帰りました。
スポーツの世界だけでなく、職場や家庭でも「チームワーク」が大切と思います。
学生時代の反省を活かし、チームワーク良く過ごすことを心がけたいです。

秋の夜長と読書週間

「暑さ寒さも彼岸まで」とは良く言ったもので、今年は記録的な残暑だったのが、秋分の日の3連休を境に急に秋めいてきました。それまでは夜でもエアコンを入れたくなるような熱帯夜が続いていたのが、窓を開け放しで寝てしまうと寒気で目が覚めるほど朝晩の涼しさは一気に進み、田んぼに囲まれた我が家では毎晩のカエルの合唱が鈴虫たちの涼しい音色に変わりました。
そうして巡ってきた秋の季節には「食欲の秋」や「スポーツの秋」、「芸術の秋」など色々とありますが、秋の夜長には「読書の秋」です。10月27日～11月9日の2週間は読書週間です。

読書週間の始まりは終戦間もない1947年（昭和22年）です。日本図書館協会が「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という理念のもとに11月17日から23日までの1週間を読書週間として制定、出版社、取次会社、書店、新聞社や放送局なども協力して各種事業が行われました。ちなみに、アメリカでは11月16日からの1週間、「チルドレンズ・ブック・ウィーク」として、子ども達に本を親しんでもらう為の動動が展開されていたので、これを参考にしたと言われています。第1回の読書週間の反響が大きかったことから、翌1948年の第2回から開催期間を10月27日からの2週間に延長し、以降、今でもこの期間は変わってません。

公益社団法人 読書推進運動協議会という団体のホームページには全国47都道府県で開催される読書週間行事一覧という記事が公開されていて、それによると群馬県では昨年、18の行事が読書週間中に開催されています。中でも、お隣、中之条町のツインプラザ図書館では

- 「本が泣いています」汚破損本を展示、 とか、
- 「貸出0回コーナー」一度も貸し出されたことのない児童書を展示貸出、 など

興味深い企画がありました^^。気になったので、今年の企画について問合わせてみたところ、「まだ確定してませんが、幾つかの企画を準備中」との事でした。

読書週間行事一覧

- 上野村図書館
- 「上野村読書推進スローガンコンテスト」読書標語を募集
- 前橋市立図書館
- 「まえばし図書館まつり」①企画展示「未来への道標！前橋市史と前橋市議会史」②ミニ展示「前橋市史と前橋市議会史」③ブックリサイクル（3日）④「ぶちシネマ『ローマの休日』」⑤まえばしハニープロジェクト関連展示「ゆりちゃんとミツバチリリー」絵本原画の展示 ⑥電子書籍体験会
- 「あなたのおすすめ○○（まるまる）袋」テーマを決めて選んだ推薦図書を新聞エコバッグに入れて貸出
- 前橋こども図書館（前橋市）
- 「○○袋―どんな本があるかな？―」テーマと対象年齢になった本を3冊～5冊を紙袋に入れて貸出
- 「ころころ、からのちょうせんじょう！ カードをひいて本をさがせ!!」レファレンスクイズ、当たると景品進呈 対象＝小学校2年生以下
- 「まえばし教育の日事業 おはなし会」絵本・大型絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど
- 太田市立尾島図書館
- 「特設コーナー 11月3(祝)・4日(日)『RC航空ページェント』」ラジコンの専門誌、関連図書の展示
- 中之条町ツインプラザ図書館
- 「ハロウィンコーナー」関連絵本・読みもの・紙芝居・大型絵本などを展示貸出
- 「本が泣いています」汚破損本を展示
- 「貸出0回コーナー」一度も貸出されたことのない児童書を展示貸出
- 「おいしい秋」コーナー タイトルに食べ物が入っている一般書（小説）を展示貸出
- 「おはなしフェスティバル」パネルシアター『はらぺこあおむし』ほか 主催＝中之条町中央公民館
- 「雑誌リサイクル市」
- 「ねころびコーナーおはなしと会」絵本の読み聞かせ、手遊び 対象＝3歳～小学校低学年
- 「歌人『俵万智』の世界」歌集などの展示貸出

なかなかユニークな企画もあります^^

公益社団法人 読書推進運動協議会 ホームページより

スマホやネットへの依存が進む中で、子ども達の読書に費やす時間は徐々に減っています。ベネッセ教育総合研究所が昨年10月にまとめた「子どもの読書行動の実態」調査によれば、小学校1年生から高校3年生までの生徒の約半数が1日の読書時間「0分」でした。この「0分」を学年別に見ると、小学1年生が25.5%で最も低く、小2で30.7%、小3は34.7%、と学年が上がるにつれて増加し、高3は69.8%にも及びます。また全体の1日あたりの読書時間はここ5年間で微減している（18分→15分）一方で、スマホ・携帯などの平均利用時間は増加しています。（50分⇒83分）

何も読書は子ども限らず大人になっても、一生を豊かに出来る大切なパートナーです。
親が読書する日常風景が、子どもにとって本に親しみを持つきっかけになるかも知れません。
読書週間の秋の夜長に、ゆっくり読書を楽しんでみてはどうでしょう？